

学長あいさつ

学長 宇根 一成

今年度、新たに福山市老人大学学長に命じられました宇根一成と申します。どうぞよろしくお願い致します。

昨年9月から学長補佐として過ごしてまいりました。老大ニュース12月号には、新任職員紹介で次のことを書きました。「これまで知らなかった世界で今、たくさんの喜びを感じています。みなさんの優しさ、温かさ、人との繋がりの大切さを実感する毎日」この思いは現在も変わっておりません。

本学に来るようになり、これまでお世話になってきた方々に再びめぐり会うことが出来ました。「宇根さん、元気かぁ。」「慣れてきたかなぁ。老大はええ所じゃろ。」等、温かい言葉をもらいます。人と人との繋がり、絆の大切さを改めて実感しています。

一方、本学がこれまで築いてこられた伝統と存在感も見えてきました。高齢者の生涯学習のため福山市が設置した施設は、開学以来、11万7千名余りの学生を生み出してきたこと、また、その学びを支える歴代学長、事務局職員、力量ある講師陣、関係者の方々も懸命に取り組まれてきたことなど、半世紀以上にわたる脈々とした歴史が伝わってきます。

一步一步の積み重ねが現在の老人大学を創り上げてきました。この9月には、「(仮称)まちづくり支援拠点施設」で新たな第一歩を踏み出します。市民の健康と長寿に貢献する福山市老人大学の次のレベル、ステージを目指して、今後のさらなる発展に寄与することをお誓いし、就任のご挨拶とさせていただきます。

